

令和5年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立六月中学校 校長 宮下 みどり

1 学校教育目標

- ① 礼儀を重んじ、他を思いやる生徒
- ② 自ら考えて創造する生徒
- ③ 心身を鍛え根気強く成し遂げる生徒

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- ① 学校図書館を活用し、読書の楽しさを教え、心豊かな生徒を育てる。
- ② 学校図書館の情報を効果的に活用し、主体的に学ぶ生徒を育てる。
- ③ 学校図書館を活用し、自分を表現できる生徒を育てる。
- ④ 読書に親しみ、読書習慣と読書力をつける。

3 学校図書館の現状（令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 12390 冊（蔵書基準冊数 11680 冊） / 蔵書率 106.1%									
	② 新規購入図書 453 冊 / 廃棄図書 690 冊 / 増減冊数 237 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2.4	3.0	7.8	9.2	6.2	4.2	1.9	6.9	2.0	55.5
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%
利活用の状況	① 開館時間：授業時、毎日昼休みから17時00分まで（前年度からの変更なし）									
	② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数 4.10 冊（前年度末：3.42 冊）									
	③ 学校図書館利用率 699%（前年度末：526%）									

（令和5年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 12,433 冊（蔵書基準冊数 11,200 冊） / 蔵書率 110.8%									
	② 新規購入図書 6.3 冊 / 廃棄図書 570 冊 / 増減冊数 43 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2.8%	3.3%	8.7%	10.2%	7.6%	4.5%	2.1%	8.0%	3.3%	49.5%
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%
利活用の状況	① 開館時間：授業時、毎日昼休みから16時30分まで（前年度から変更）									
	② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数 8.6 冊（前年度末：4.10 冊）									
	③ 学校図書館利用率 888%（前年度末：699%）									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	① 小学校からの読書週間を継続しながら、読書に親しむ意欲を育成する。 ② 学校図書館を活用した探求活動を通して、問題発見・課題解決能力の育成を図る。 ③ 図書の借り方や扱い方等、正しく利用する態度を育てる。	
今年度の成果目標		達成基準
① 休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して、読書ができること。		① 第1学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数前年度比10%増
② 図書館の本や新聞等を活用しながら探究活動を進め、課題に対して自分の考えをまとめ、表現することができること。		② 図書館を利用した授業を年1回以上実施
③ 学校図書館のきまりや仕組みを知る		③ 学校図書館オリエンテーションの学年全生徒の受講率100%
目標達成状況	① 達成（1人当たり 前年4.4冊→本年6.8冊） ② 国語の授業にて、図書館を使った授業を複数回実施。 ③ 1学年にてオリエンテーションを実施。	

第2学年	① いろいろな読み物を読もうとする意欲を育てる。 ② 課題によって学校図書やICT機器を使い分ける活動を通して、情報活用能力の育成を図る。 ③ 学校図書をよりよくするための思考を通じて、規範意識の育成を図る。
-------------	--

今年度の成果目標	達成基準
① 休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して、読書ができる。 ② 課題に応じて、本や新聞等、ICT機器を使い分け、探究活動を進めることができる。 ③ 学校図書館のきまりや仕組みについて理解し、必要に応じて学校図書館を活用することができる。	① 第2学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数前年度比10%増 ② 職業体験や校外学習での図書館利用者を50%以上 ③ 図書室を利用する授業を年1回以上実施

目標達成状況	
① 未達成（1人当たり 前年3.9冊→本年4.3冊） ② タブレット端末を活用していたため、図書館を使った調べ学習はほとんど実施できなかった。 ③ 図書館を使った授業を実施できなかった。	

第3学年	① 読書をとおして考えを広げたり、深めたりしようとする意欲を育てる。 ② 学校図書やICT機器を活用した探究活動を通して、言語能力の育成を図る。 ③ 学校図書をよりよくするための活動を通して、主権者としての素養を育成する。
-------------	---

今年度の成果目標	達成基準
① 休み時間や放課後の時間等、主体的に学校図書館を活用して、読書ができる。 ② 課題に応じて、本や新聞等、ICT機器を使い分け、探究活動を進め、表現することができる。 ③ 学校図書館のきまりや仕組みについて理解し、よりより仕組みについて考えたり、話し合ったりすることができる。	① 第3学年の生徒一人あたりの年間貸し出し平均冊数前年度比10%増 ② 修学旅行での図書館利用者を50%以上 ③ 図書室を利用する授業を年1回以上実施

目標達成状況	
① 達成（1人当たり 前年2.0冊→本年5.7冊） ② 図書館の蔵書を活用して、事前学習を実施することができた。 ③ 国語の授業において、図書館を使った授業を複数回実施することができた。	

5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
【蔵書・配架等に関すること】 ① 既存の寄贈本や新規購入図書の受け入れ、登録作業を12月中に完了させる。 ② 廃棄図書を早期に確定させ、蔵書構成を念頭においた新規図書購入計画を作成する。	① 12月中に実施完了 ② 新規図書購入計画を作成できた。
【学校図書館支援員との連携・協働】 ① 学校図書館オリエンテーションの実施やブックトーク等、支援員の積極的な連携・協働に取り組む。 ② 調べ学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について積極的に支援員への相談や情報交換を行う。 ③ 学校図書館だより展示・掲示の工夫・充実を図り、生徒の読書活動の向上に努める。	① 支援員とともに1年生のオリエンテーションを実施。1年生の利用率増加につなげる。 ② 支援員と情報交換をしながら、図書館を使った授業を展開することができた。 ③ おみくじやポスター作成を実施。
【その他】 ① 年度末の貸し出し返却率が100%となるよう取り組む。 ② 朝読書を学校図書館と連携して行い、学級文庫の設置など全校生徒が読書に親しむ土壌づくりを行う。	① 学級文庫において未返却が数冊あり。 ② 朝読書と連携して土壌づくりができた。

6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

蔵書の構成割合は文学9類が多い状況ではあるが、廃棄と新規購入でバランスを取りながら国基準に近づこう取り組んでいる。図書館の利用者数については、図書だよりの発行や図書委員によるポスター制作、おみくじなどを実施し昨年度より1875冊増えた（内訳：個人702冊＋学級文庫ほか1173冊）。次年度は図書委員との連携だけでなく、授業での図書館の活用を増やし、図書館の利用者数を増やしていきたい。

7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）

生徒の図書館利用率が上昇傾向にある。朝読書を活発化させて本に親しむ生徒を増やし、読書活動が活発になることを期待する。